

センターだより

NO. 1 1

平成25(2013)年3月12日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

平成24年度 事業報告

1 教職員研修

(1)市教育センター研修 214講座 **参加者 延べ5,797人** (3/8現在)

<一般研修講座> 178講座 参加者 延べ 5,321人

- ① 管理職研修(22講座)
 - ・校長、教頭、新任校長、新任教頭
- ② ライフステージに合った研修講座(87講座)
 - ・初任者、新転任者、フレッシュ(新規採用養護教諭・事務職員・幼稚園教諭、新規任用講師)
 - ・ステップアップ、ヤングリーダー、10年経験者、スクールリーダー(首席・指導教諭・主幹・主査・副主査)
- ③ 教育課題別研修講座(11講座)
 - ・教育課程、人権教育、生徒指導、教育相談、応急手当、国際理解、歴史探訪等
- ④ 教科・領域別研修講座(28講座)
 - ・授業づくり(理科実験・観察、ICT活用、スーパーティーチャーに学ぶ等)
 - ・小学校英語活動(基礎研修、授業研修、夏季集中)
- ⑤ 幼稚園教育研修講座(1講座)
- ⑥ 専門職等研修講座(11講座)
 - ・学校事務職員、栄養教諭、養護教諭、学校図書館担当者
- ⑦ 特別支援教育研修(17講座)
 - ・特別支援教育コーディネーター(ベーシック・アドバンス)、特別支援教育事例検討、支援学級
- ⑧ さつきら・るーむ(初任者教員等相談室)(延べ27件)
 - ・研究授業等に向けての相談、代表研究授業に向けての相談、初任者等への訪問指導
- ⑧ 教育研究大会全体講演会
 - ・教育研究大会の全体会を夏季に別日に実施

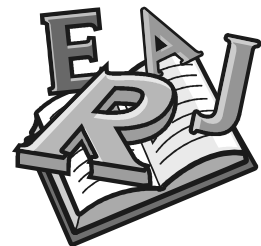


<情報教育研修講座> 36講座 参加者 延べ 476人

- ① システム管理 ② 情報セキュリティ ③ 情報モラル ④ 校内LAN・ICT機器活用
- ⑤ ホームページ・ブログの作成・活用 ⑥ 各種ソフト活用 ⑦ 栄養教諭・学校図書館担当者・校務員研修

(2) 校内研修支援

- ① 講師謝金 ② 研修・大会参加負担金



2 調査・研究

(1) 研究グループ活動

- ① 理科教育 ② 子ども支援 ③ 発達理解 ④ 道徳教育
- ⑤ 英語教育 ⑥ 食育 ⑦ 学校組織マネジメント

(2) 研究学校委嘱

- ① 読解力 吹田南小 ② 言語活動 . . . 千里新田小、片山小、古江台中
- ③ 人権教育 . . . 岸部第一小 ④ 使える英語プロジェクト . . . 千里みらい夢学園 竹見台中学校ブロック

(3) 教育研究団体への支援

- ① 吹田市小・中学校教育研究会 補助金
- ② 大阪府小・中学校教育研究会 補助金
- ③ 各研究協議会 分担金



3 教育資料の収集・発信

(1) 教育情報の収集・発信

- ① センターだより(各月・特別号)・紀要107号(年度末発行)、所報83(年度末発行)、要覧NO.19(毎年発行)
- ② 教育資料等の充実・活用、検索システムの改善 ③ 情報教育用コンテンツの充実(ホームページの利用)

4 教育研究大会

参加者 延べ1,583人

・平成24年8月28日(火)14:50~(メイシアター・勤労者会館)7分科会

5 教育相談

- (1) 電話・来所相談 情緒・行動、学習・発達、不登校に関する相談が多くありました。
- (2) 出張教育相談 全小学校に教育相談員を派遣し、子どもや保護者、教職員のニーズに対応してきました。
- (3) いじめのなやみ相談（専用ダイヤル）
- (4) スクール・セクシャル・ハラスメント相談（専用ダイヤル）

6 適応指導教室

- (1) 不登校児童・生徒支援事業 学校復帰を目標にして、「光の森」活動、「学びの森」活動、「家庭訪問活動」とおして、子どもたちを支援してきました。

7 特別支援教育

- (1) 巡回相談 幼稚園、小学校、中学校への巡回発達相談の実施
- (2) 教職員の指導力養成 特別支援教育研修（※教職員研修欄参照）の実施
（特別支援教育コーディネータ研修、事例検討研修、支援学級研修）
- (3) 保護者支援 保護者啓発研修、ペアレント・トレーニングの実施

8 進路選択支援

- (1) 進路選択支援相談 奨学金や貸付金等の進路選択に関する相談を受け、保護者等を支援してきました。

9 情報教育

- (1) 情報教育機器等の整備
 - ① 教育用PC等の機器更新（5年間保証）、校内LANの整備・活用
- (2) SATSUKIネットの普及・運用
 - ① 学校園ホームページの管理・更新
 - ② 教職員へのID、メールアドレスの配付による運用
 - ③ 「校務なび」による学校間連絡体制
 - ④ サーバセンターを中心としたセキュリティ確保の一元化 等
- (3) 情報教育推進支援
 - ① 情報教育推進委員会（6回開催）
 - ② 情報教育研修の実施（※教職員研修欄参照）

10 学校支援

- (1) 学校等支援者ボランティアネットワーク 登録者数（2/15現在）：1,242名
 - ① エス・ネット
 - ② スクール・ボランティア
 - ③ 学校インターンシップ

ピックアップ報告 3 専業

その①【情報教育】 その②【教育相談】 その③【不登校児童生徒支援事業】

◆情報教育◆

今年度は小・中学校の職員室及びコンピュータ室の情報教育機器の更新を行いました。コンピュータ室の児童・生徒端末にノート型パソコンを採用し、新たに天吊り型プロジェクタ、電動式スクリーンを導入し、コンピュータ室の利用の幅を広げました。普通教室においても各小・中学校にプロジェクタ・書画カメラ・電子黒板ユニットを6セットずつ導入しました。2月に実施した「ICT機器の活用に関するアンケート」では、毎週1コマ以上ICT機器を活用している教員は、昨年度と比べ6.5%も増加しています。特に中学校での増加が目覚ましく、13.5%と大幅な増加となりました。普通教室でICT機器を日常的に活用する教員の数は、確実に増えてきています。

情報研修では、今年度新たに導入した機器及びソフトを活用した研修を企画しました。また、情報モラルにおいては、大学の先生を招いての研修、仮想携帯電話を活用した情報モラル授業の研修等を実施しました。次年度も教育センター主催の情報教育の研修を実施していきませんが、各校でも情報教育推進委員を中心に校内情報教育研修会の計画や、中学校ブロックにて情報交換をしていただければと考えております。特に情報セキュリティ研修は情報漏洩等の未然防止に繋がるので、一層の充実を図りたいと考えています。校内の情報教育研修の講師の紹介やICT機器に関する相談がありましたら、教育センターまで御連絡下さい。

◆ 教育相談 ◆

平成24年度も教育センターでは各種相談事業を実施し、多くの方に利用していただきました。以下のとおり報告いたします。

【出張教育相談（小学校）・スクールカウンセラー（中学校）】

平成24年度は市内全35小学校に対して5校で年間30回、30校で年間18回の出張教育相談を行いました。また、中学校に対しては大阪府派遣のスクールカウンセラーが全18中学校に対して年間35回の教育相談を行いました。内容は保護者、児童生徒に対するカウンセリングや教職員に対するコンサルテーション、校内会議における助言等です。2月末現在では小学校・出張教育相談が約2500回、中学校・スクールカウンセラーでは約4500回の相談があり、特に不登校、問題行動、発達障がいに関する相談を多く取扱いました。

【来所相談・電話相談】

教育センターにおける来所相談と電話相談では2月末現在で合わせて約3100回の相談がありました。主訴としては出張相談・SCと同様、不登校、問題行動、発達障がいに関する相談が多く、今年はいじめに関する電話相談が例年より若干多くみられました。

【来年度に向けて】

平成25年度は今年にひきつづき、木曜日の夜間来所相談を実施します。また、出張教育相談においてはニーズ・実績に合わせて派遣形態や回数を設定します。また、教育相談を活用していただくために「教育相談ハンドブック」を発行します。ぜひ学校園でご活用ください。

◆ 不登校児童生徒支援事業 ◆

1. 適応指導教室の本年度の状況

学校復帰を目標に「光の森」「学びの森」「家庭訪問活動」とそれぞれの適応指導教室の活動を実施しました。平成24年度の在室人数は「光の森」が19名（中学3年生8名、2年生7名、1年生4名、小学生0名）、「学びの森」は、20名（中学3年生9名、2年生8名、1年生1名、小学生2名）、「家庭訪問活動」は、3名（中学3年生2名、1年生1名）です。

[いずれも2月末現在。体験中児童・生徒含む]

昨年度より、子どもの適応指導教室見学前に「学校訪問」を実施し、きめ細かな不登校支援を目指しました。子どもの休み始めた経緯を丁寧に検討するとともに、子どもの好きなことや趣味を聞くことで、適応指導教室にスムーズに慣れていくよう配慮しました。また、通室している児童・生徒の個別の復帰プログラムに基づき、相談員が子どもや保護者と面談する中で、週1回の登校や、月1回の登校など、個に応じた登校へのアプローチを検討しました。

2. 次年度へ向けて

適応指導教室から、部分登校・別室登校・学校復帰につながる取組を推進するために、学校との連携をより一層深めていきます。本年度も、テストを適応指導教室で受け始め、学校の別室で受け、教室で受けるようになるなど、子どもによって様々な成長が見られました。来年度もテストや行事への参加等をきっかけに学校復帰へと繋がることを目指していきます。また、長期欠席児童・生徒に対しては、「家庭訪問」活動や適応指導教室等、様々な学校支援を行っていきます。

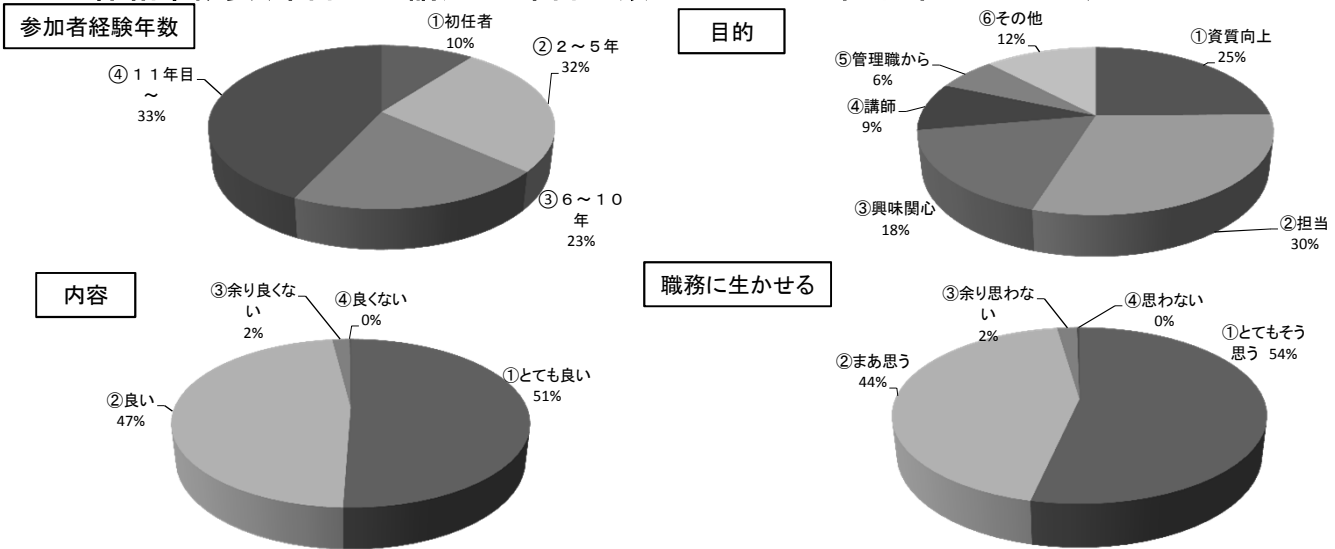
教職員研修

平成24年度は、いじめ問題など今日的課題についての内容や次世代リーダー育成・授業づくり研修などに重点をおき、合計215の研修講座を実施し、のべ5797人の参加がありました。研修アンケートについては、今年度は107講座で実施し回収率も85.5%でした。多くの方々からのご意見・ご感想ありがとうございました。

■ 平成24年度研修講座と参加者数(3月8日現在) **全講座数 214 講座** **参加者数のべ 5797 人**

	研修講座名	講座数	参加者数	研修講座名	講座数	参加者数
ライフステージにあつた研修	管理職研修	22	1023	教育課題別研修	11	364
	ヤングリーダー研修	6	96	小学校英語活動研修	9	237
	初任者・フレッシュ研修	50	920	授業づくり研修	19	505
	ステップアップ研修	21	685	専門職等研修	11	153
	10年経験者研修	5	49	特別支援教育研修	17	867
	スクールリーダー研修	5	137	幼稚園教育研修	1	34
	教育研究大会全体講演会	1	251	情報教育研修	36	476

■ 全体結果概要(集計106講座 集計人数 2832人 回収率 85.6%)



研修参加目的や参加者経験年数は、昨年度とほぼ同じ傾向がみられました。研修内容については、98%の方から「良かった」、「今後の職務に生かせそうだ」と回答があり、昨年度と同様の高い評価をいただきました。特に、専門職研修・授業づくり研修・初任者研修では、60%以上の方から「とても良い」と評価をいただきました。研修時間・時期について、また自由記述からもたくさんの貴重な意見がありました。これらを参考にしながら、今日的な教育課題や各学校園のニーズを踏まえ、次年度の研修を準備していきます。

■ 講座別結果(「内容はどうでしたか?」に対する回答)

